

歯内療法学

責任者・コーディネーター		(主) 歯科保存学講座（う蝕治療学分野） 野田 守 教授 歯科保存学講座（う蝕治療学分野） 浅野 明子 准教授		
担当講座（分野）		歯科保存学講座（う蝕治療学分野）		
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習
期間	後期		前期	—
			後期	56.0時間 42.0時間

学修方針（講義概要等）

歯内治療学(endodontics)では、口腔治療の対象となる歯内疾患の各疾患の科学と病態、診査・診断・治療方法を講義・実習で段階的に把握する。

教育成果（アウトカム）

歯内疾患の科学、病態（診査・診断）治療の講義・実習で修復領域を修得する。初診から高頻度歯科臨床の流れとして臨床で求められる口腔治療学の、知識、態度、技能を学修することができる。履修内容に関するフィードバックは掲示・ウェブクラス等で周知する。

（関連するディプロマポリシー：1， 2， 4， 6， 9）

到達目標（SB0s）

1. 歯内治療学の意義と目的について説明できる。
2. 歯内治療の治療の特徴について説明できる。
3. 歯内治療の基本的な手技を実施できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

【事後学修】

講義、実習で理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各授業に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	9/9 (水)	1	野田 守教授 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	歯内総論 歯と歯周組織の機能・構造 歯内療法の定義、意義、目的について説明できるようになる。	1. 歯内療法学の目的を説明できる。 2. 歯髄腔の組織・解剖学を説明できる。 3. 象牙質・歯髄複合体の生理学的機能、硬組織形態を説明できる。 4. 歯と歯髄腔の形態異常について説明できる。 [A-2-4-8、A-5-5-1、A-5-5-1、D-3-1-3-1、D-3-1-3-2、D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第1章、第2章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	9/9 (水)	2	野田 守教授 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野) 西谷佳浩非常勤講師	歯髄の保存療法、待機的診断 歯髄疾患の治療方針および歯髄保存療法について説明できるようになる。	1. 各種歯髄疾患の治療方針について説明できる。 2. 待機的診断法について説明できる。 3. 歯髄鎮痛消炎療法について説明できる。 4. 間接覆髄法について説明できる。 5. 直接覆髄法について説明できる。 6. 暫間的間接覆髄法について説明できる。 7. 生活断髄法について説明できる。 [D-5-2-1-5、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学 5章VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	9/9 (水)	3 4	浅野明子准教授 大塚泰寛助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯内治療における基本術式 歯内治療に必要な検査法について説明できるようになる。	1. 適切な医療面接ができる。 2. 診断に必要な検査の目的を説明できる。 3. 歯内治療に必要な検査法を説明できる。 4. 検査機器の使用方法を説明できる。 5. 無菌的処置法、麻酔法について説明できる。 [D-2-1-1全般、D-2-2-1、D-3-1-3-3、D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学4章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	9/16 (水)	1 2	野田 守教授 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	歯髄炎と根尖性歯周炎の概要 歯髄炎と根尖性歯周炎の病変について説明できるようになる。	1. 歯髄炎の病態について説明できる。 2. 根尖性歯周炎の病態について説明できる。 3. 歯髄保護の方法について説明できる。 [D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学 5, 章V、VI、VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	9/30 (水)	1 2	浅野明子准教授 飛嶋彩恵子助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	歯髄疾患の分類と病態 各種歯髄疾患の分類と病態について説明できるようになる。	1. 歯髄疾患の原因を説明できる。 2. 歯髄疾患の分類と臨床症状について説明できる。 3. 歯髄疾患の特徴と経過について説明できる。 4. 歯髄疾患の特徴と経過を説明できる。 [A-5-5-1、A-5-5-2、D-3-1-3-1、D-3-1-3-2、D-3-1-3-3、D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第5章 I～IVを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	10/7 (水)	1 2	浅野明子准教授 飛嶋彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯髄疾患の診断、治療方針 歯髄疾患の診断と治療方針、治療法について説明できる。	1. 歯髄疾患の診断について説明できる。 2. 歯髄疾患の治療方針について説明できる。 3. 歯髄疾患の治療法について説明できる。 [D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学 5章V～VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	10/14 (水)	1 2 3	東 兼司助教 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根尖性歯周炎の分類、病態、診断、治療方針 各種根尖性歯周炎の病態から治療方針まで説明できるようになる。	1. 根尖性歯周疾患の概要について説明できる。 2. 根尖性歯周疾患の原因について説明できる。 3. 各種根尖性歯周組織疾患の分類と病態を説明できる。 4. 根尖性歯周疾患の特徴と経過について説明できる。 5. 根尖性歯周疾患の診断について説明できる。 6. 根尖性歯周疾患の治療方針について説明できる。 [A-5-5-1、A-5-5-2、D-3-1-3-1、D-3-1-3-2、D-3-1-3-3、D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第6章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	11/4 (水)	1 2	野田 守教授 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野) 前田英史非常勤講師	実体顕微鏡を応用した歯内治療 実体顕微鏡を用いた根管治療について説明できるようになる。	1. 根管治療の注意点を説明できる。 2. 実体顕微鏡の使用方法を説明できる。 [D-5-2-2-1、D-5-2-2-5] 事前学習：歯内治療学第7、14章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	11/4 (水)	3	浅野明子准教授 大塚泰寛助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根管処置 抜髄・感染根管治療の 基本術式について説明 できるようになる。	1. 髓腔開拓の要件について説明で きる。 2. 作業長の測定について説明できる。 3. 根管形成について説明できる。 4. 根管の化学的洗浄、消毒につい て説明できる。 5. 根管内容物の検査、補助療法つ いて説明できる。 6. 再根管治療について説明でき る。 [D-5-2-2-1] 事前学習：歯内治療学第7章を読 み、疑問点を抽出しておく。また事 前に提示されたキーワードについて 教科書とその他の参考書を含めて調 べ、予習しておく。所要時間30分程 度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。
講義	11/4 (水)	4	浅野明子准教授 大塚泰寛助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根管充填 根管充填の基本術式に ついて説明できるよう になる。	1. 根管充填の目的を説明できる。 2. 根管充填が可能な条件を説明で きる。 3. 根管充填材の所要性質、種類に ついて説明できる。 4. 種々の根管充填の術式について 説明できる。 5. 即時根管充填法について説明でき る。 6. 根管充填後の治癒経過について説 明できる。 [D-5-2-2-2] 事前学習：歯内治療学第8章を読 み、疑問点を抽出しておく。また事 前に提示されたキーワードについて 教科書とその他の参考書を含めて調 べ、予習しておく。所要時間30分程 度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。
演習	11/18 (水)	1	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	中間試験	1. これまでに学んだことを規定時 間内に説明できる。

講義	11/18 (水)	2	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	緊急処置 根未完成歯の治療 疼痛に対する緊急処置 方法と根未完成歯の治 療法について説明でき る。	1. 疼痛に対する緊急処置法を説明で きる。 2. 急性歯髄炎に対する緊急処置法を 説明できる。 3. 根尖性歯周炎に対する緊急処置法 を説明できる。 4. 根未完成歯の歯内療法を目的を 説明できる。 5. アペキソグネーシスについて説 明できる。 6. アペキシフィケーションについ て説明できる。 7. 再生歯内療法について説明でき る。 [D-5-2-2-1、D-5-2-2-3] 事前学習：歯内治療学第9章、第10 章を読み、疑問点を抽出しておく。 また事前に提示されたキーワードに ついて教科書とその他の参考書を含 めて調べ、予習しておく。所要時間 30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。
講義	11/18 (水)	3	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯根の病的吸収 歯根の病的吸収の病態 について説明できる。	1. 内部吸収の原因、症状、対処法に ついて説明できる。 2. 外部吸収の原因、症状、対処法に ついて説明できる。 [D-5-2-2-7] 事前学習：歯内治療学第11章を読 み、疑問点を抽出しておく。また事 前に提示されたキーワードについて 教科書とその他の参考書を含めて調 べ、予習しておく。所要時間30分程 度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。
講義	12/9 (水)	1	東 兼司助教 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	外傷歯の診断と処置 外傷歯の歯内療法の基 本術式について説明で きるようになる。	1. 外傷歯の分類が説明できる。 2. 外傷歯も診査・検査について説明 できる。 3. 外傷歯の治療について説明でき る。 [D-3-1-2-3、D-5-2-2-8] 事前学習：歯内治療学第12章を読 み、疑問点を抽出しておく。また事 前に提示されたキーワードについて 教科書とその他の参考書を含めて調 べ、予習しておく。所要時間30分程 度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。

講義	12/9 (水)	2	東 兼司助教 相上雄亮助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	外科的歯内療法 実体顕微鏡の応用 外科的歯内療法の術式・適応症、実体顕微鏡について説明できるようになる。	1. 外科的歯内療法の術式・適応症を説明できる。 2. 外科的歯内療法に用いる器具を用意できる。 3. 実体顕微鏡の構造、機能を説明できる。 4. 実体顕微鏡による検査、適応症を説明できる。 [D-5-2-2-5] 事前学習：歯内治療学第13、14章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	12/9 (水)	3	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	根管処置後の歯冠修復 歯内一歯周病変のの病態、治療法について説明できる。支台築造法について説明できる。	1. コロナルリーケージについて説明できる。 2. 支台築造法について説明できる。 [E-3-3)-(2)-(2)、E-3-4)-(1)-(3)] 事前学習：第18章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	12/9 (水)	4	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯内治療における安全対策 歯内治療における偶発症について説明できる。	1. 歯内療法における偶発症を説明できる。 2. 偶発症への対処法を説明できる。 3. 有病者における歯内処置で配慮すべき点を説明できる。 [D-5-2-2-3] 事前学習：歯内治療学第19章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	12/16 (水)	1	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野) 志賀華絵非常勤講師	変色歯の漂白 変色歯の漂白法について説明できる。	1. 変色歯の分類を説明できる。 2. 変色歯の漂白方法を説明できる。 3. 漂白の適応症と禁忌症を説明できる。 4. 偶発症について説明できる。 [D-5-2-2-3、D-5-2-2-6] 事前学習：歯内治療学第15章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	12/16 (水)	2	浅野明子准教授 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野) 志賀華絵非常勤講師	高齢者有病者の歯内治療 高齢者・有病者の歯内治療の留意点について説明できるようになる。	1. 高齢者の心身における特徴を説明できる。 2. 全身疾患と歯内治療について説明できる。 3. 高齢者・有病者と健常者の歯内療法の違いを説明できる。 4. 高齢者の歯内療法について説明できる。 [D-3-2-2、D-5-2-2-1] 事前学習：第17章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	12/23 (水)	1	野田 守教授 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯内一歯周病変 歯内一歯周病変のの病態、治療法について説明できる。	1. 歯内一歯周病変の分類と臨床症状について説明できる。 2. 歯内一歯周病変の診断と治療について説明できる。 [E-3-3)-(2)-(2)、E-3-4)-(1)-(3)] 事前学習：第16章、を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	12/23 (水)	2	野田 守教授 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	歯内臨床ケースから学ぶ PBL形式 提示された歯内症例に 対して的確な診断、治 療法の選択、治療に用 いる器具を容易できる ようになる。	1. 提示された症例に対して、的確 な診査ができる。 2. 提示された症例に対して、的確 な診断ができる。 3. 患者背景を考慮した治療法を選 択できる。 4. 治療に用いる器具を用意でき る。 与えられたテーマおよび問題に対し てインターネットなどを利用して、 情報収集を行い、発表出来るように 纏めておく。 [D-5-2-2全般] 事前学習：有病者の歯科治療との関 連についてインターネットなどで調 べておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。
----	--------------	---	---	--	---

実習日程表

実習	9/16 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	材料と根管形成 歯内療法に用いる各種 材料を把握し、今後の 実習の理解を深めるこ とができるようになる。	1. ブローチで綿栓を巻くことがで きる。 2. 根管模型で根管拡大を行うこと ができる。 3. 根管治療で使用する器具を適切 に扱うことができる。 4. 根管拡大の基準を説明できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E- 5-1] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読 み、疑問点を抽出しておく。また事 前に提示されたキーワードについて 教科書とその他の参考書を含めて調 べ、予習しておく。所要時間30分程 度。 事後学修：理解が不十分であった箇 所について、講義資料や教科書を用 いて知識を整理しておくこと。所要 時間45分程度。
----	-------------	--------	--	---	--

実習	9/30 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	上顎前歯の根管治療① 髓腔開拓から根管口の 明示、仮封までをシュ ミレーター実習で根管 拡大を治療手技に沿っ てできるようになる。	1. 根管治療の術式を説明できる。 2. 上顎前歯の髓腔開拓を行うことができる。 3. 根管口の漏斗状拡大を行うことができる。 4. 作業長を決定することができる。 5. 作業長で根管拡大を行うことができる。 6. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-6] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	10/7 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	臼歯の根管治療① 上顎小臼歯 髓腔開拓 根管口明示 根管拡大 シミュレーターで上顎 小臼歯の根管治療がで きるようになる。	1. 上顎小臼歯の髓腔開拓を行うことができる。 2. 根管口の漏斗状拡大を行うことができる。 3. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-2] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	10/21 (水)	1 2 3	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	臼歯の根管治療② 根管充填① 下顎大臼歯の髓腔開 拓、根管口の明示、根 管拡大をシュミレー ター実習で大臼歯の根 管治療ができるよう になる。 アクリル模型で基本的 な根管充填の基本的 手技を行うことができ ようになる。	1. 下顎大臼歯のアクセスキャビ ティを理解できる。 2. 下顎大臼歯の根管拡大を行うことができる。 3. 根管治療の術式を説明できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-6] 事前学習：WebClassで実習書を予習したうえで、実習に望むこと。

実習	11/11 (水)	1 2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	上顎前歯の根管治療② 上顎前歯部の根管充填をシュミレーターで行うことができるようになる。 電氣的根管長測定器を使用して根管長測定的ができるようになる。	1. 根管充填を行うことができる条件を説明できる。 2. マスターポイントの試適を行うことができる。 3. シーラーを練和できる。 4. 根管充填を行うことができる。 5. 電氣的根管長測定を行うことができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-6] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	11/11 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	臼歯の根管治療③ 下顎大臼歯の根管充填をシュミレーター実習で行うことができるようになる。	1. 根管充填を行うことができる条件を説明できる。 2. マスターポイントの試適を行うことができる。 3. シーラーを練和できる。 4. 根管充填を行うことができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-7] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	12/2 (水)	1 2	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	上顎前歯の根管治療③ 再根管治療をシュミレーター実習で行うことができるようになる。	1. 根管内の根管充填材を除去することができる。 2. 再根管治療が必要な病態を説明できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-1] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	12/2 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	臼歯の根管治療④ 上顎大臼歯の根管拡大をシュミレーター実習で行うことができる。	1. 上顎大臼歯の髓腔開拓を行うことができる。 2. シュミレーター実習で診療解除を実施することができる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-2] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	12/16 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	ニッケルチタンロータリーファイルを使用した根管治療 シュミレーターでニッケルチタンロータリーファイルでの根管拡大を実施できるようになる。	1. ニッケルチタンロータリーファイルの特徴を説明できる。 2. ニッケルチタンロータリーファイルで根管拡大を実施できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-2-2] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	12/23 (水)	3 4	野田 守教授 浅野明子准教授 千田弥栄子助教 東 兼司助教 大塚泰寛助教 相上雄亮助教 清水彩恵子助教 鈴木太平助教 高満正宜助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	実習試験 与えられた臨床課題をシュミレーターで実施できるようになる。	1. 与えられた課題を時間内に達成できる。 [E-1-1-1、E-1-1-2、E-1-1-3、E-5-1、E-5-3-1-1] 事前学習：歯内療法学, 実習書を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。所要時間30分程度。 事後学修：理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	歯内治療学 第6版	興地隆史ほか編	医歯薬出版	2025年
教	エンドドンティクス 第7版	興地隆史ほか編	永末書店	2026年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義（65点以上で合格）：講義レポート、中間試験、定期試験の総合評価

実習（65点以上で合格）：実習（態度、知識、技能）の総合評価

講義と実習が両者とも合格した場合のみ、合格とする。

備考

実習：すべての実習に態度良好で出席すること、すべての提出物を提出すること、すべての検印を受けることを必須とし、それらを全て守れない場合は、原則として実習評価不可とする。

本実習では、実習に関する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価する。

講義・実習：講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。

再試は原則として各領域65点以上を合格とする。

到達目標	DP	講義レポート	実習	中間試験	定期試験	合計
1,2	1,4,9	10		20	50	80
3	2,6		20			20
合計		10	20	20	50	100

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

アクティブ・ラーニングを実施するために、TxADの各講義・実習ではグループワークを取り入れ、伝える力の強化を図るとともに、各講義・実習時間内に扱う各内容に関して担当教員とのディスカッションの機会を設ける。学生の理解度を必要に応じて講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して逐次確認する。講義資料は必要に応じてWebClassにアップロードする。

学生参加型講義を実施するために、各担当者は過去の国試問題をインターネット上の事前学習教材（DESSお試し演習）として演習前日までに設定する。各学生は事前学修教材を事前に予習した上で、各講義・演習および解説講義に臨むこと。各実施予定日には講義室でインターネットに接続できるよう予め接続可能なPC、タブレット等を準備しておくこと。講義終了後は、事前学修済み教材を活用し事後学修を必ず行なうこと。

小テストや中間試験を分析してさらなる学修が必要な項目について、講義時間内あるいは掲示にてフィードバックを行う。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき機械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的